

日野が生んだ戦国時代の英雄

『蒲生氏郷の城』展



【会津若松城】

氏郷生誕の城 日野中野城から、信長・秀吉の天下取りの戦いに出陣した城や会津城主として制圧した東北の城、氏郷が築城した松坂城と会津若松城など全三十六城を写真と解説文で展示します。

【「蒲生氏郷の城」展】

《日時》平成31年3月3日(日)～3月23日(土)

《場所》日野町立図書館 展示コーナー

《主催》蒲生氏郷公顕彰会

《共催》日野町立図書館 (月・火・祝日は休館)

【記念講演会】

《日時》平成31年3月10日(日) 午前10時

《場所》日野町立図書館 視聴覚室

《講演者》福永 保



【日野中野城址】



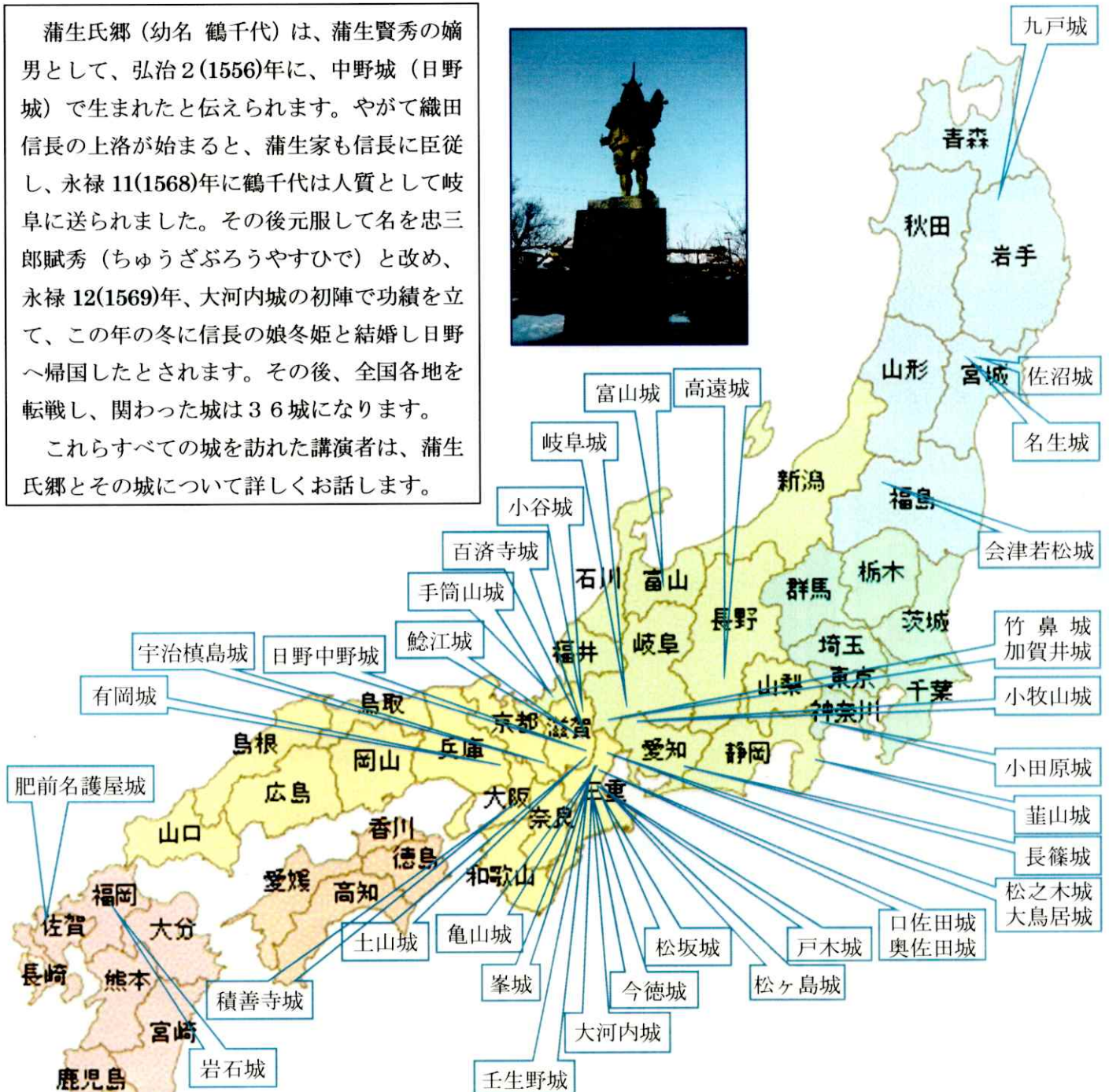
【松坂城の石垣】

こんなにもある！

蒲生氏郷が関わった城

蒲生氏郷(幼名 鶴千代)は、蒲生賢秀の嫡男として、弘治2(1556)年に、中野城(日野城)で生まれたと伝えられます。やがて織田信長の上洛が始まると、蒲生家も信長に臣従し、永禄11(1568)年に鶴千代は人質として岐阜に送られました。その後元服して名を忠三郎賦秀(ちゅうざぶろうやすひで)と改め、永禄12(1569)年、大河内城の初陣で功績を立て、この年の冬に信長の娘冬姫と結婚し日野へ帰国したとされます。その後、全国各地を転戦し、関わった城は36城になります。

これらすべての城を訪れた講演者は、蒲生氏郷とその城について詳しくお話しします。



講演者の紹介：福永 保、昭和30年日野町生まれ。現在、蒲生氏郷公顕彰会理事。仕事の傍ら、郷土史を調べたり城郭巡りをしていました。退職後、戦国時代に日野町で生まれた蒲生氏郷に深く関心を持ち、その生涯や蒲生氏郷が関わった全国に散らばる36の城に出かけて調べ上げました。今回、平成31年3月3日から日野町立図書館で「蒲生氏郷の城」展を開催し、3月10日(日)には記念講演会を実施します。